

2014年5月吉日

報道関係の皆様へ

NPO 法人かわさきムーブアート応援隊
かわさきキネマサークル

市民による動画ニュース「かわさき市民ニュース」制作100本達成のお知らせ

日頃より当団体の活動にご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、（公財）かわさき市民活動センターのかわさき市民公益活動助成金事業として2011年7月より制作して参りました「かわさき市民ニュース」（初年度タイトルは「かわさきニュース」）が、累計制作本数100本に到達しましたのでご案内をさせていただきます。

「かわさき市民ニュース」は市民の手で、市民の目線で、川崎の「今」を動画で記録しニュース配信すると共に、後世へ残すためにアーカイブ化しています。制作100本はひとつの節目ではありますが、今後も自助努力により、未永く制作を続ける所存です。

添付資料

「かわさき市民ニュース」概要
かわさきキネマサークル概要

お問い合わせ先

〒212-0013 川崎市幸区堀川町66-20 川崎市産業振興会館3F

NPO法人かわさきムーブアート応援隊 理事長 君嶋

かわさきキネマサークル 代表 東

MAIL : k-cnews@kcn.minibird.jp

URL : <http://kcn.minibird.jp/>

(別紙1)

「かわさき市民ニュース」概要

1. 目的

その時代の街の様子を映像で記録してきた「神奈川ニュース映画」は、2007年をもって終了しました。NPO法人かわさきムーブアート応援隊とかわさきキネマサークルは、市民の貴重な財産である それらの記録映像を後世に繋げていく必要があると思い、その川崎版である「かわさき市民ニュース」の制作を開始しました。

2. 経緯

2010年4月、川崎市と「映像のまち・かわさき」推進フォーラムが進める小学校映像制作授業のボランティア・スタッフとしてムーブアート応援隊が、かわさきキネマサークルを組織化。活動2年目からは、広く川崎市に貢献できる「かわさき市民ニュース」をムーブアート応援隊が企画し、(公財)かわさき市民活動センターの助成金事業として2011年7月から、かわさきキネマサークルが制作を開始しました。

3. 概要

- ・イベントや施設紹介、市民活動紹介、四季・風物など、川崎の「今」をタイムリーにニュース配信するとともに、映像資産の活用と蓄積を行います。
- ・市民の手で、市民の目線で、川崎の「今」を分かりやすく伝えます。
- ・ニュース作品の時間は、2分～3分。
- ・ニュース配信はインターネット上で行なっており、100本すべてを公開しています。
「かわさき市民ニュース」URL：<http://kcn.minibird.jp/>
- ・別途、市民活動などを紹介した長尺(7分～20分)のDVD作品もあります。

4. 年別制作本数

- ・2011年：23本
- ・2012年：36本
- ・2013年：29本
- ・2014年：12本(5月8日現在) 累計100本

5. 今後の制作

(公財)かわさき市民活動センターの助成は本年3月をもって終了しましたが、かわさきキネマサークルの自助努力により「かわさき市民ニュース」の制作を継続していきます。本年度は限られた予算ですが、20本以上の制作を目標にします。

(別紙2)

かわさきキネマサークル概要

1. 経緯

2010年4月、ムーブアート応援隊が川崎市教育文化会館主催の映像編集講座受講者に呼びかけ、小学校映像制作授業のボランティア・スタッフとして設立。現在、シニアの川崎市民中心に構成しています。

「映像を楽しく学んで、社会貢献！」を活動方針に、互いの長所を活かし合い、スキルアップしながら4年間楽しく活動してきました。新聞等にかわさきキネマサークルの活動が紹介されたことやホームページによる情報発信などにより会員数が増加し、現在26名(2014年5月)です。

2. 今後の活動

「かわさき市民ニュース」の制作や社会貢献活動を継続していくためにも、団体としての規約や運営体制を確立し、活動資金を確保して自立化を推進。また、視聴回数を数倍に増やすと共に、外部団体とも連携して、より継続的で発展的な活動を目指します。

- ①かわさき市民ニュース制作
- ②市・区、NPO、市民団体、企業などからのソーシャル・ビジネスを中心とした請負映像制作
- ③小学校映像制作授業やムーブアート応援隊主催の講習会をサポートし、子供から大人までの映像教育で「映像のまちづくり」に貢献
- ④勉強会、撮影会、作品発表会などのサークル活動
- ⑤老人会やデイサービスなど福祉施設での出張上映会による社会貢献活動
- ⑥ホームページでの情報発信や達人倶楽部など外部団体との連携

以上